

KSKQどかどかつうしん No. 254



特定非営利活動法人いばらき自立支援センター

ぽぽんがぽんNews

2012年 4月



ろくちゃんまちをゆくNo.85

こんにちは。みなさん、お元気でしょうか？久々の通信を書かせてもらいます。4月に入り、新年度を迎える時期です。そうそう、ちょうど1年前に、普段からお世話になっている追手門学院大学の准教授の方から、社会人ゼミへのお誘いがありました。最初は戸惑いながらでしたが通い始める事になりましたので、その事を記事にします。社会人ゼミでは、演習テーマを決めて、学習や調査を行い、ゼミ生の中で討論を行っていました。学習については、大学の通常講義が受講でき、また、調査については大学内の図書館を使用することができました。毎週金曜日の90分のゼミと講義などで、学生気分を味わっていました。

社会人ゼミ初日に、学生生活の手引きなどが配布されましたが、その中にバリアフリーをめざしてというタイトルで、施設や設備などの説明が書かれており、そのあとは、一般の学生に対して、「障がい者が援助を必要としている場合、どうぞ進んで声をかけて下さい。」と書かれていました。また、障がい当事者の方に対しては、「遠慮無く周囲に声をかけましょう」と書かれていました。僕の経験した学校や他の方から聞いた話では、学生生活の手引きにそのようなことが書いてある事を聞いたことがなかったので驚きました。

ゼミ開始から1ヶ月くらい経ち、学内の図書館で、私があることで困った際、学生に声をかけても気づいてもらえなかった事がありました。また別の日には、こちらから何も声をかけなくても、学生から自然に声をかけてもらった経験もあります。が、手引きにそこまで書かないといけないものなのかな…って、なんとなく複雑でした。

話しはもどって、ゼミ生は9人で、私が一番若く、最高齢で80代の方がおられました。経歴も様々で、元貿易会社勤務の方・元市議会議員の方・僧侶を目指している方・古着の研究をされている方等がおられ、それぞれ社会経験が豊富な方たちでした。ゼミの中では、演習テーマについてみなさん自信をもって発表され、その後、討論になっても一歩も引かない事に驚きました。そんな中で私も発表を行い、討論の中では様々な質問をされることに最初は動揺していました。しかし、数をこなしていく事で、動揺も少しずつ解消されました。

ゼミ生の仲間は、何事に対しても動じずにしっかりと自分自身を持っており、圧倒されましたが、そのような環境の中で、一緒にゼミ生として勉強できた事は、私にとって良い経験になりました。2012年3月でこのゼミは終了しましたが、公私ともに段々と視野が狭くなっていた事に気づかされ、また今の自分の生活や仕事について客観視することもでき、とてもプラスになりました。また、機会があればチャレンジしようと思います。

文責：六條友聡



- | | | | |
|---|---------------------|---|----------------------------|
| 1 | ろくちゃんまちをゆく | 3 | お米の宣伝、自主製品の通信販売 |
| 2 | 茨木市障害者相談支援体制の今後について | 4 | 寄付金のお礼とお祝い
バザー用品のお礼とお祝い |

どかどかつうしんは、ホームページでもご覧いただけます。

<http://popongapon.com/>

いばらきししょうがいしやそうだんしえんたいせい こんご
茨木市障害者相談支援体制の今後について

このたび改めて平成24年度の茨木市障害者相談支援事業委託選考会が行われ、ぽぽんがぼんを含む5つの事業所（※1）への委託が決定しました。ぽぽんがぼんでは、平成19年度22年度23年度と茨木市障害者相談支援事業の委託を受けて、茨木市障害者地域自立支援協議会の運営等を担ってきているところですが、引き続き取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、今後の茨木市の相談支援体制の方向性についてこの間、茨木市地域福祉推進懇談会や障害者施策推進協議会における茨木市総合保健福祉計画策定に向けた議論等の中からお伝えしたいと思っております。

この間、福祉ニーズや生活課題が多様化・複雑化し、行政による公的なサービスの支援だけでは限界があり、地域社会全体で福祉を担っていく仕組み作りが求められていることから、身近な地域における相談支援、見守り機能を一層強化した地域福祉ネットワークを展開し、地域住民が安心して暮らせる地域づくりを推進する「地域福祉ネットワーク事業」を進めることが大きな方向性となります。その内容としては、公民館に総合相談窓口を設置し、民生委員・児童委員が相談に応じ、小学校区単位で市のケースワーカーや保健師を割り当て、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）等がコーディネーターとなり地域での相談支援体制を強化するものです。

そして、小学校区単位に「地域福祉ネットワーク」を展開し、4から5小学校区を1つの単位とする「日常生活圏域」（※2）が設定されます。「日常生活圏域」には「地域包括支援センター」や「障害者相談支援事業」などの専門相談機関を配置し、小学校区単位では解決困難な課題について対応します。

高齢者の支援機関である「地域包括支援センター」は、すでに7つの「日常生活圏域」ごとに配置されていますが、「障害者相談支援事業」については、今後「日常生活圏域」への対応と合わせて現在の5か所から7か所へと増やしていく計画になっています。

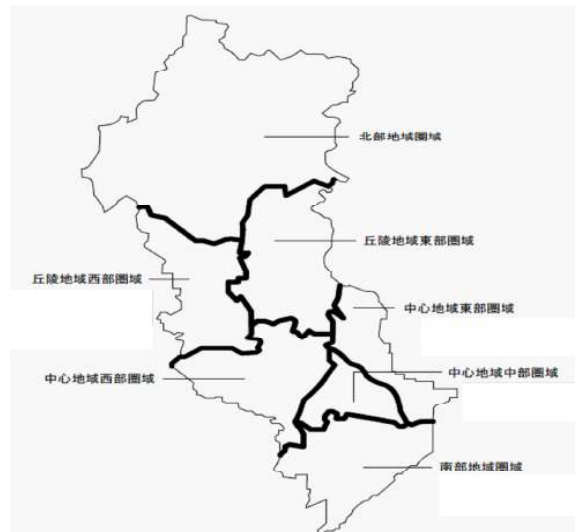
以上が、大きな方向性となっていますが、茨木市の障がい者に関連する計画全体を通して「医療モデル」から「社会モデル」へと、又「施設」から「地域」へと少しずつ考え方が変わりつつあるのではと感じました。このような考え方が絵に描いた餅とならないように、日々、実直に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 太田吾郎

平成24年度 茨木市障害者相談支援事業所（※1）

特定非営利活動法人いばらき自立支援センター ・いばらき自立支援センターぽぽんがぼん
社会福祉法とんぼ福祉会 ・相談支援センター「とんぼ」
医療法人紫博会 ・相談支援センター「りあん」
社会福祉法人大阪障害者福祉事業団 ・地域支援センターあいあいみしま
医療法人清風会 ・菜の花障害者相談支援センター

【日常生活圏域】（※2）



「ふかふか」バザー

「ふかふか」では、月に2~3回「リサイクルバザー」をしています！

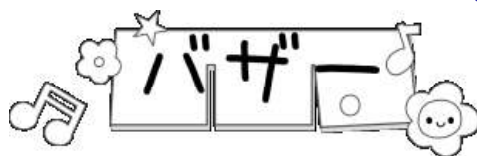
バザーの日でなくても、いつでも見に来ていただけます！

《4月》10日、24日 いずれも（火曜）

*バザーの日程は、事情により変更の場合があります。

詳細はお問い合わせ下さい。

「ふかふか」：茨木市南安威2-6-20
 （追手門学院大学前です）
072-643-6898



おいしい「減農薬米」お届けします！

兵庫県三田市のおいしいお米、

ぜひ、お試しください！

配達方法、価格などは

お問い合わせ下さい。

「ぼかぼか」：山本

でんわ & FAX：072-637-0115



「アルミ缶」あつめていきます！

作業所では、アルミ缶の回収を
 しています。ゴミ袋3袋以上から、
 ご自宅に回収にお伺いします。

ご協力をお願いします。※茨木市内

「どかどか」：072-637-6882



自主製品

通信販売



人気商品が
たくさん!!

①下記の表に記入の上、メール、FAX、郵送でお申し込み下さい。

メール：poponga_doka@yahoo.co.jp

FAX：072-637-6883

郵送：〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町7-29

②商品と振り込み用紙をお送りします。

※郵送代はお客様ご負担となります。

③代金を1ヶ月以内にお振り込み下さい。



自主製品商品一覧

商品名	内容	価格	注文数・サイズ	商品名	内容	価格	注文数・サイズ
てすきはがき	1枚外 5枚入	¥100		あくりるたわし 小	1口 (直径約10cm)	¥50	
干付きてすきはがき	1枚外 5枚入	¥100		あくりるたわし 大	1口 (直径約12cm)	¥100	
てすきふうとう	1枚外 5枚入	¥200		布ぞうり (XS,S,M)	サイズは下記の通り	各¥1000	
ミマゲゾウリ	1組	¥100		布ぞうり (L)	サイズは下記の通り	¥1200	
てすき一筆箋	1枚外 10枚入	¥150		ちびぞうりストラップ 小	ぞうりの形のストラップ	¥300	
ひとここと	1枚外 10枚入	¥150		ちびぞうりストラップ 大	ぞうりの形のストラップ	¥400	
すてんしるはがき	絵付 2枚入	¥100		ちびぞうり根付け	1口入り	¥450	
シガ	1本	¥300		ちびぞうり刺繍	1口入り	¥450	

※注文数は「1枚外数」でお願いします。 ※布ぞうりのサイズ：XS=13~18、S=19~21、M=22~24、L=25~27 (cm)

<ご注文書>

(フリガナ)
おなまえ

TEL - -
FAX - -



「センター寄付金」へのご協力ありがとうございました

12/13～3/12まで（順不同）

小野様 坂本様 鎮山様 村上様 山下様 浅野様 西村様 西田様
岸本様 高原様 太田様 コーポ神戸コーポ活動センター-大阪北様
その他たくさんの方々の皆様 ありがとうございます。



2001年2月よりNPO法人として活動を開始し、10年が経ちます。地域に根ざした障がい者支援活動を継続していく中で、事業規模が年々大きくなってきています。すると、事業を運営していくための運転資金も年々大きくなっていきます。そのため、皆様からのご寄付がありましたらとても助かります。

少額でも構いませんので、何卒皆様のご協力をお願いいたします。

郵便局 郵便振替口座番号 00950-5-314522

口座名 「いばらき自立支援センターぽぽんがぽん」

◎通信欄に『センター寄付金』とおかきください



アルミ缶・バザー用品・牛乳パック等のご提供ありがとうございました

12/13～3/12まで（順不同）

伊藤様 堀之内様 峯松様 長嶋様 足立様 小野様 手嶋様 埴淵様
はとバス様 追手門学院中・高等部様 吉見様 正月様 ハシモト様 土肥様
奥原様 吉田様

その他たくさんの方々の皆様 ありがとうございます。

バザー用品提供お願いします

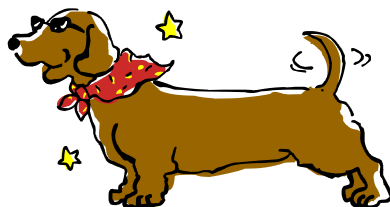
『衣類』子供・大人・新品も古着もOK（しみ、破れのないものをお願いします）

『日用品』雑貨・カバン・新品食器等（大型、電化製品はお受けできませんのでご了承ください）

（ご持参いただくと大変助かります）

「ぽかぽか」主原町13-3 TEL：072-637-0115

「ふかふか」南安威2-6-20 TEL：072-643-6898



編集者：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」 Tel (072) 637-6882

〒567-0888 茨木市駅前1-4-14エステ茨木駅前3F いばらき自立支援センター（法人事務所）

発行人：関西障害者定期刊行物協会 〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2東興ビル4F

定価50円



一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行